

# さよなら原発! 日光の会 第9回 総会

# 記念講演会

講師 吉田千亜さん

# 「3・11フクシマから10年、そしてこれから」

東日本大震災・福島第一原発事故から丸10年、「3・11から10年」が経過し、原発事故は今だ終息もされずにいる。とくに放射能被害から逃れようと、福島県内、全国各地へ避難した避難者は未だに3万6千人とも6万7千人ともされる。国は帰還政策を進めているが、避難者はそれぞれのさまざまな事情を抱えている。いや、ふだんの生活さえままならない被災者たちがいる。特に公的な支援が打ち切られた、いわゆる自主避難者の実情はいかばかりか。

早くから被災者、母子避難を含む避難者に寄り添い、耳を傾け、実状を伝えてきたフリーライター・吉田千亜（よしだちあ）さんを講師に迎え、この問題の現状、課題、そして今後、どんなことが待ち受けており、それをどう考えたらいいか―、それをていねいに語っていただく。吉田さんは著書「孤塁 双葉郡消防士たちの3・11」（岩波書店）で今年度の日本ジャーナリスト会議賞、講談社ノンフィクション賞を受賞したばかり。状況にきちんと向き合い問題点を洗い出す手腕は定評がある。

原発事故から丸10年の節目に今一度、いまだに避難者たちに重くのしかかる事故の影響や理不尽さ、あるいは私たちを取り巻く状況の変化などについて知る機会を用意した。

日時: 2021年

4月24日(土)

開 場: 13時半 開会: 14時 終了: 16時半

会 場: 日光市中央公民館中ホール  
(日光市平ヶ崎160)

資料代: 前売券 700円  
(しょうがい者 500円、中学生以下 無料)

当日券: 1000円

後 援: 日光市・日光市教育委員会

問合せ先: 090・5351・3440

(さよなら原発! 日光の会 富岡洋一郎)

講師 吉田千亜 (よしだちあ)



出版社勤務を経てフリーライター。福島第一原発事故後、被害者・被災者の取材、サポートを続けている。著書に「孤塁 双葉郡消防士たちの3・11」（岩波書店）—今年度、日本ジャーナリスト会議賞、講談社ノンフィクション賞—「レポ 母子避難」（岩波新書）、「その後の福島 原発事故後を生きる人々」（人文書院）、共著に「原発避難白書」（人文書院）がある。



日本ジャーナリスト会議賞  
講談社ノンフィクション賞  
受賞者!!

